



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話：072-838-0400
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

おもな Contents :

- 校区ボランティア部会紹介
～点野校区ボランティア部会～
- ボランティア活動報告
- 5つのたのしみ3つの願い達成

市立保健福祉センターで
朝10時から4時までの間、
軽舞台やブースを設けて、
音楽・踊り・マジック・落
語などの芸能関係をはじめ
団体や個人のさまざまな特
技などの「見本市」(発表)
を予定しています。

芸能ボランティアを必要
とする福祉施設や団体のみ
なさんは希望するボランテ

芸能の祭典 充実の出し物いっぱい

もうすぐ活動見本市の日

3月10日(日)「ボランティア活動見本市」を開きます。市内で活動中の15ボランティア団体(2月25日現在)が日ごろの活動の成果を披露します。同時に市内の福祉施設やふれあいサロンの担当者が観覧し、依頼ボランティアを見つけることのできる取り組みです。



アイデアを見つけて詳細を聞き出演交渉なども可能です。
売の手ボランティアは
○日ごろの活動で芸を磨いています(?) これらを一人でも多くの人に見て喜んでもらえれば、私達の励み



演芸ボランティアの落語を楽しむお年よりのみなさん堀溝校区のいきいきサロンで



にもなります。一石二鳥ですね。

○当日たくさんの方にご覧いただき、私たちの活動をお伝えして、知っていただく、これを披露できるのはうれしいことです。

買い手側は

○校区で毎月2回「いきいきサロン」を開いています。もう、10年以上になりますので、内容のマンネリ化に

悩んでいます。「見本市」でいろいろ拝見して、私たちの校区でも披露していただけるのを期待しています。

(校区サロン担当)

○何回か芸能ボランティアさんをお願いして、施設の利用者さんには大変好評でした。お年寄りにたくさん喜びや変化を提供してくださるのとはとてもありがたいです。(高齢者施設担当)

校区ボランティア部会紹介

災害時の炊き出しを体験

点野校区ボランティア部会

2月17日、点野小学校体育館で『自主防災訓練』が開かれました。

校区内11の自治会から160人を超える住民が参加。日本赤十字社からの災害経験者など8人の講師による、3つのテーマで研修と訓練がはじまりました。
①災害時の心得(講義)
②避難所での高齢者への影響(講義)
③心肺蘇生とAEDの使い



手作りの非常食ごはんと豚汁を配るボランティア部会員。点野小学校体育館

方(心臓マッサージ・人工呼吸・AED使用の体験)。ボランティア部会では、災害時の炊き出し実習として、アルファードと豚汁を用意し、参加者全員が試食。最低気温0度以下という寒いなかで「おいしいし温まった、ありがとう」との声を聞くことができました。

日ごろと違う段取りに、些細なところで不手際もありましたが、伝達方法などの重要性を実感しました。自然災害など、イザという時には、落ち着いて有効な行動が求められますが、そのためにも今回の実習はいい経験になり、続けていくことの大事さを感じた一日でした。(衣川)

絵手紙で交流

去年の10月5日に当ボランティアセンター登録の「ほうれんそう」が、市内の国松緑丘小学校の支援学級で絵手紙を指導しました。

「子ども達は個性あふれる絵を描いて私たちボランティアと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。ぜひ元気いっぱい作品をご覧ください」とスタッフの一人が話していました。

小学生とVグループ



はがきから絵が飛び出してきた。う・力強い作品の数々

ただ今、登録受付中

ボランティアセンターでは、平成25年度の団体と個人登録の受付をしています。詳細は下記のとおりですので、継続登録・新規登録をご希望の方は当センターまで手続きをお願いします。

1. 登録期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日
2. 提出期限：平成25年3月31日まで
3. ボランティア保険の加入手続きは登録申請書の提出時、または活動開始時まで。

くわしくは、事務局までお問い合わせください。電話 079-828-0400

シニアではじめるボランティア「傾聴」 ～自分の「元気」のためにも～

シニアのためのボランティア講座「シニアではじめる『傾聴』ボランティア講座」が、1～2月にかけての5回シリーズで開かれました。

参加者は「ゆっくり人の話を聴くのは難しい」、「相手の話の腰を折らず、安心して話してもらう」、「傾聴は笑顔が大事」などが理解できたと話していました。

また、「増加傾向にある認知症についても、今回の学び『傾聴』を活かしながら、理解を深めつつ地域活動に関わっていきたい。自身の『元気』のためにも」との声も聞けました。

「傾聴」を学ぶ受講生のみ
なさん||保健福祉センター



寝屋川市障害児者福祉施設協議会は1月13日に、市立総合センターを会場に「第10回 あいあい祭」を開きました。当センターからも、個人登録や校区ボランティア部会・相談員の多くが協力参加しました。



子どもコーナーは小学生に大人気。スタッフと客との会話も弾み、世代間交流にも一役買っていました

5つの楽しみ3つの願い達成

う、伝える、見る・・・と、

50を越えるボランティアが参加 あいあい祭りは大にぎわい

参加する、創る、ふれあ
共有することを目的に進め
られました。

市立第二中学校吹奏楽部の演奏から始まった祭りは和太鼓やダンスのグループなどの発表やゲームコーナー・物品の販売など参加者とスタッフの両者が楽しめるプログラムになっていました。

ボランティアのこえ
■祭りを楽しむことができ



舞台では自慢の歌を披露
|| 2階講堂

あいあい祭3つのお願い

- ① 市民とともに参加しやすく、楽しめる
- ② 施設間の連携を深めるとともに、多くの団体との連携を図る
- ③ 継続的に障害者を支援する組織づくりをしていく

たのと同時に、たくさんの人
と知り合うことができまし
た。 (60代女性)

■子どもたちも参加してい
たので、ボランティアの活
動を見て、ボランティアを肌
で感じてくれたと思います。
(70代男性ボランティア)

■違う分野のボランティア
さんとも交流ができて有意
義な1日になりました。
(50代女性)

■手作り作品もたくさん出
品されていたので、大変興味
を持ちました。(60代女性)

「寝屋川市障害児者を守る親の会」は第33回目のバザーを開きます。

バザーの収益は障害児者が地域で生き生きと暮らせる社会づくりや、自立に向けての活動に充てられます。また、障害のある子どもたちが豊かな活動ができるよう、学習会やレクリエーションなどを親の会で取り組むため、幅広く有意義に使用させていただきます。

掘り出し物がいっぱい ～「障害児者を守る親の会」バザー～

とき：3月3日(日) 10:00から
ところ：寝屋川市立総合センター



ボランティア活動調整報告

【当ボランティアセンター取り扱い調整分（施設・団体に限定）】

月	活動日	活動先 〔施設・団体〕	活動分野	活動内容	人数	対応 〔ボランティア・校区・団体〕
12	1・11・14・15	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	8	明德宇谷・東・明和・個人
	4	さくら草	身体障害	訓練補助	2	成美
	14・15・17・19	めぐみデイサービスセンター	高齢者	行事援助	14	ばらの会・美鈴会 あけぼの会
	17	ボランティアセンター		通信折込	3	個人
	18	健康増進課	乳幼児	保育	7	桜・田井石津・和光
	19・20	デイケアセンター白井内科	高齢者	行事援助	5	美鈴会・個人
	24	ソレイユ寝屋川	高齢者	行事援助	2	個人
小計	14	7			41	
1	7・8・9	デイサービスセンターうずまさ	高齢者	行事援助	21	第五・国松緑丘・東
	12・19・24・25・29	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	12	美鈴会・明德宇谷・東 明和・個人
	13	あいあいまつり	障害者	行事援助	35	桜・田井石津・成美・西・北 神田・池田・木田 木屋・個人・わくわく未来塾
	15	南病院ケアセンター デイケア室	高齢者	行事援助	1	懐かしい映画アニメ映画の会
	16	たんぽぽ保育所子育て支援センター	乳幼児	保育	2	明和
	19	グループホーム ここから高宮	高齢者	行事援助	3	あけぼの会
	21	ときわ老人デイサービスセンター	高齢者	行事援助	4	「夢楽らいぶ」一座
小計	13	7			76	

12月～1月 集計 活動日数：27日 活動先件数：14件 ボランティア数：117人

□ 訂正 □

前76号(12月20日発行)当欄掲載に一部記載漏れがありました。

「10月21日 障害福祉課での対応団体は 国松緑丘・第五・点野・池田・神田・成美・木屋・北・桜・木田・えんじょい です。お詫びして訂正します。



♪ 啓蟄 ♪